

「平成31年度中学校(北部・東部ブロック)英語指導助手配置派遣業務」契約結果

平成31年度中学校(北部・東部ブロック)英語指導助手配置派遣業務について指名型プロポーザル方式で受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

1 業務内容

平成31年度中学校(北部・東部ブロック)英語指導助手配置派遣業務

2 契約の相手方

株式会社インタラック関東南

3 評価結果

順位	提案者	最終評価点数(委員6人の採点の合計点)
1	株式会社インタラック関東南	1,588
2	株式会社ハートコーポレイション	1,372
3	株式会社ボーダーリンク	1,351
4	NOVAホールディングス株式会社	—

※「—」は一次審査で落選

■ 評価項目は別紙のとおり

4 評価委員会開催経過

(1)第1回評価委員会

委員会開催日時及び開催場所	平成30年12月12日 17時20分～17時30分 関内駅前第一ビル
評価委員の出席状況	出席6/委員数6(人)(充足率100%)

(2)第2回評価委員会

委員会開催日時及び開催場所	平成30年12月19日 10時30分～12時00分 関内駅前第一ビル 302会議室
評価委員の出席状況	出席6/委員数6(人)(充足率100%)
主な質疑の観点	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校訪問10回とあるが、前期、後期合わせて10回なのか。 ○横浜での配置となった時、提示してもらっている学校訪問は可能なのか。 ○アクティブラーニングという言葉が出てくるが、御社の捉えを教えてください。 ○採用段階での面接をしていないように見受けられるが実際はどうか。 ○AETが欠勤となった時の対応が書かれているが、具体的にはどのようにしているか。 ○主体的・対話的・深い学びの御社の捉えを教えてください。 ○AET活用教育研究会はどのくらいの頻度でアドバイスをおこなっているのか。 ○学校には様々な特性をもった生徒がいるが、そうした生徒たちへの対応に関する研修等は行われているか。 ○倫理教育の追加のねらいと考え方はどうなっているか。 ○課題のあるAETの研修についてとあるが、どのくらいいるのか。研修で対応するケースはどういった内容になるのか。 ○2020年を迎えるにあたっての生徒に提供する教材の開発等はあるのか。 ○AET数が多くなり、様々な国から来日すると、状況も異なる中でその質の管理として意識していることはあるか。 ○採用段階で子どもどう関わられるか、ということとどのように見極めをしているのか。 ○人物重視で採用するポイントはどのようなことと考えているか。また、どのように見極めているのか。 ○授業外におけるAETの活用について、今までの中で効果的な例を教えてください。 ○横浜の規模のAETを配置することは可能なのか。 ○配置直前研修で横浜教育ビジョンを反映してもらっているところはあるか。 ○欠員を防ぐための工夫とあるが、その効果はどうなっているか。 ○採用の人数について増えている中で、AETの質の保持はどのように行っているか。 ○IOT教材について詳しく教えてください。 ○日本語での打ち合わせは可能か。 ○AETが年度途中で辞め、代行講師を活用しても、間が空いてしまったことはあるか。 ○横浜市への優先配置とあるが、そのような形で配置ができるのか。 ○教材開発について、会社としてAETにどのような支援、指導をしているのか。

5 問い合わせ先

教育委員会事務局 教育課程推進室
TEL 045-671-3267